

安全な地域づくりに向けて 身を引き締める

1/6

平成31年登別市消防出初式

1月6日(日)、市民会館に消防職員と消防団員が一堂に会し、『平成31年登別市消防出初式』（市主催）を開催しました。

式典に先立って、駐車場では、消防職員や消防団員122人による堂々たる『消防職団員分列行進』が行われたほか、市民会館大ホールでは、西胆振鳶土木工事業連合組合や西胆振若鳶会、千歳鳶土工事業組合、千歳若鳶会の皆さんによる伝統芸能の『纏振り』、『木遣り歌』、『はしご乗り』が披露され、会場に集まった市民などは、たくさん拍手を送っていました。

式典では、多くの消防団員や市民などが見守る中、消防団員延べ34人に対して長年にわたる地域の防火・防災活動への登別市長表彰や北海道消防表彰、北海道消防協会定例表彰が行われ、これからも安全・安心なまちとなるよう、消防団活動のさらなる強化・充実に向けて、思いを新たにしていました。



▲多くの観客の目を釘付けにしたはしご乗りや纏振り

▲分団ごとに列をなした分列行進

元旦縁起もちつき
新年を迎えた1月1日(火)、泉源公園（登別温泉町）で行われた『元旦縁起もちつき』（登別国際観光コンベンション協会主催）で、『子宝もちつき舞』が披露されました。

昭和57年に誕生した『子宝もちつき舞』は、登別に湧く名湯『子宝湯』にちなんで、子宝や夫婦円満、家内安全を祈願する郷土芸能です。4人のつき手が、笛や太鼓の音色に合わせて、きねを巧みに操りながら餅をつく様子に市民や観光客約400人から多くの歓声が沸き上がっていました。

餅がつき上がった後にはお汁粉が振る舞われ、会場には多くの笑みが溢れていました。

新年の幕開けを飾る

1/1



▲協定を取り交わす北海道文教大学学長の渡部俊弘さん（右）

地域社会の発展に向けた連携

12/21

北海道文教大学との包括連携協定締結式

平成30年12月21日(金)、登別市は恵庭市にある北海道文教大学と、相互の人的、知的資源の交流などを図り、地域の発展に取り組む『包括連携協定』を締結しました。

今後は、福祉をはじめ、医療、教育など、さまざまな分野で活躍する人材の育成に取り組んでいる同校と実習生の受け入れなど、幅広い連携を図りながら、地域社会の活性化に取り組んでいきます。

なお、大学との協定締結は、室蘭工業大学、東京農業大学に次いで3校目となります。



▲軽快に餅をつき、観客を魅了する『子宝もちつき舞』

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL：
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード

